

# 道德科としての授業への準備 ～鍵となる視点とは～

平成27年3月に告示されました学習指導要領一部改正では、「多様な感じ方や考え方に接する中で、考えを深め、判断し、表現する力などを育むこと」「特別活動等における多様な実践活動や体験活動も道德科の授業に生かすようにすること」「地域の実情等を考慮し、多様な教材の活用に努めること」などの文言から「多様な」という一つの方向性が見受けられます。そこから、これまで以上に幅広く、より柔軟に工夫をしながら多様性を実現できる道德教育・道德な授業の開発への期待が示されていると考えます。

その多様性実現のために、現状において、正しく道德の時間を理解し、その上で工夫できる力が必要です。そして、魅力的な素晴らしい取組や授業実践を皆が再確認し共有することから、道德科への道筋を固めていくことが大切ではないでしょうか。

今回の道德教育シンポジウムでは、3名の講師より、現在の取組や授業を通して、道德科の鍵となる視点をお示しいただくとともに、道德科への準備となる教師の力量形成についてご提案いただきます。また、恒例となりました、道德授業づくりを実践的に学びあうワークショップを小中学校別に実施いたします。ぜひシンポジウムをご活用いただきたく、ご参加をお待ちしております。

**日時** 8月7日(金)～8日(土)

**場所** 日比谷図書文化館 コンベンションホール  
 小学校ワークショップは上廣倫理財団ホールで実施します  
 中学校ワークショップは日比谷図書文化館で実施します

**申込** 申込票を郵送、Fax、E-mail で送付下さい  
 入場整理券を送ります。(先着100名)

**参加費** 2,000円(資料代・懇親会費として)

## スケジュール・講師

7日(金) ※資料は事前にご送付致します。

13:00 受付

13:30 開会・授業づくりワークショップ

「小学校講師」 場所:上廣倫理財団ホール

広中 忠昭(千葉県柏市立藤心小学校校長)

服部 敬一(大阪市立豊仁小学校校長)

「中学校講師」 場所:日比谷図書文化会館4F

大館 昭彦(千葉県流山市立小山小学校校長)

荊木 聡(大阪教育大学附属天王寺中学校教諭)

16:30 まとめ・終了

17:00 懇親会

18:30 終了

8日(土) 場所:日比谷図書文化会館コンベンションホール

(B1F)

10:00 受付

10:30 開会・一日目のまとめ

11:10 シンポジウム(各提言60分、休憩5分)  
 道德科としての授業への準備

提言1 谷田 増幸(兵庫教育大学教授)

12:10 昼食

13:20 提言2 林 泰成(上越教育大学教授・副学長)

14:25 提言3 永田 繁雄(東京学芸大学教授)

15:25 休憩

15:35 シンポジウム・質疑応答

16:30 終了

## 連絡先

公益財団法人 上廣倫理財団 道德教育シンポジウム係 担当 上田博次

〒102-0075 東京都千代田区三番町6-3 TEL. 03-3261-8711 FAX. 03-3261-8747 E-mail ueda@rinri.or.jp

公益財団法人上廣倫理財団『道德教育シンポジウム』参加申込票

平成27年 月 日

フリガナ		フリガナ	
ご芳名		学校名 (勤務先)	
連絡先	〒 ( 学校 ・ 自宅 ) ○で囲む		
	E-Mail		
TEL.	FAX.		

## 第20回 道德教育シンポジウム 講師ご紹介



永田 繁雄（ながた・しげお）氏 東京学芸大学教授・前文部科学省調査官

静岡県に生まれる。東京学芸大附属大泉小学校、文京区教育委員会指導主事を経て、平成14年1月より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。平成21年4月より現職。NHKの道德番組委員、中央教育審議会 道德教育専門部会委員。『道德授業の新しい展開』（共著・小学館）『魔法の教室』（単著・WAVE 出版）『研究授業 小学校道德』『社会体験学習の展開と支援の方法』（編著、共に明治図書）等著作多数。



林 泰成（はやし・やすなり）氏 上越教育大学教授・副学長

福井県生まれ。同志社大学文学部、同志社大学大学院文学研究科（文学修士）同志社大学講師等を経て現職。専門領域は、道德教育論、心の教育論。日本道德教育学会（理事）日本道德教育方法学会（理事・副会長）日本道德性発達実践学会（常任理事）などを務める。著書に『小学校 中学校 道德授業で仲間づくり・クラスづくり・モラルスキルトレーニングプログラム』（明治図書）等多数。



谷田 増幸（たにだ・ますゆき）氏 兵庫教育大学大学院教授

広島市中、高等学校教諭、教育センター指導主事を経て、平成18年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。平成22年より現職。専門領域は、道德教育、公民科教育。日本道德教育学会（理事）日本道德教育方法学会（理事）編著・共著に『新中学校道德指導細案』（明治図書 2010）『戦後道德教育を築いた人々と21世紀の課題』（教育出版 2012）『教育的思考の作法4 道德教育の可能性－徳は教えられるか－』（福村出版 2012）等多数。

### ワークショップ講師

広中 忠昭（ひろなか・ただあき）氏 千葉県柏市立藤心小学校校長

柏市立内小学校教諭、教頭を歴任。千葉県松戸市立寒風台小学校校長、千葉県柏市立豊小学校校長を経て現職。「学研」全国道德副読本編集委員、平成13～15年度 千葉県教科指導委員（道德）、明治図書月刊雑誌『道德教育』に多数原稿執筆。

服部 敬一（はっとり・けいち）氏 大阪市立豊仁小学校校長

大阪教育大学附属天王寺小学校教諭、同副校長、大阪市教育委員会主任指導主事を経て現職。共著『研究授業 小学校道德（低学年）』（明治図書 2004年）研究論文「道德の時間における「ねらい」の検討」（大阪教育大学紀要）「道德的価値の内面的における「わかる」ことの意味」（道德教育学論集8）など多数。

大館 昭彦（おおだて・あきひこ）氏 千葉県流山市立小山小学校校長

1993年に上越教育大学大学院を修了。千葉県流山市立内中学校、教頭を歴任。千葉県教育庁東葛飾教育事務所指導主事を経て現職。学校心理士・上級カウンセラー。分担執筆『ケアする心を育む道德教育－伝統的な倫理学を超えて』（北大路書房・2000年）。など執筆や論文等多数がある。

荊木 聡（いばらき・さとし）氏 大阪教育大学附属天王寺中学校教諭

大阪府貝塚市中学校教員を経て現職。数学及び道德関連の原稿執筆が多数ある。明治図書月刊雑誌『道德教育』に「足袋の季節」を最大限に活かすヒント A パターン B パターン」「諸刃の剣としての教科化」「法に対する精神的風土との「闘潮」」など多数原稿を執筆。